

次世代バイオ医薬品製造技術研究組合への参画について

記者各位

当社(社長:一色 誠一)は、本年9月26日に発足した、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合(以下、本組合)に加入しましたので、お知らせいたします。

本組合は、経済産業省の個別化医療^{※1}に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発(国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術)プロジェクトを実施するために設立されました。

当社は、バイオ医薬品の製造に使用される培地^{※2}開発において、国内外の数多くの製薬メーカーと連携し、培地最適化プロジェクトを実施してまいりました。本組合では、これまで蓄積してきた技術を活用し、バイオ医薬品製造における生産性の向上と品質の安定化を両立すべく、最適な培地の開発に取り組めます。

当社グループは、世界に先駆けて、不妊治療用培地の商業生産を開始し、現在、国内(埼玉県)および米国(カリフォルニア州)の製造工場^{※3}において、GMP^{※4}に準拠した厳しい品質管理のもと、培地の製造を行っております。また、次世代医療として期待を集めている再生医療・細胞治療用培地の開発も推進しております。

引き続き、第2次中期経営計画で掲げた、独自技術に基づく高付加価値製品の需要獲得に向け、培地事業においても高品質な製品を供給するとともに、医療・医薬分野の発展に貢献してまいります。

※1 個別化医療:各個人の遺伝子情報に基づき、各個人に適した医薬・治療方法を提供する

※2 培地:微生物や生物組織を人工的に育てるために(培養するために)必要なもので、栄養源、ビタミン、無機塩などからなる

※3 製造工場:Irvine Scientific社(当社100%子会社)所有の工場

※4 GMP:Good Manufacturing Practiceの略で、医薬品等の製造管理、品質管理の基準

以上

● 別添資料

 [次世代バイオ医薬品製造技術研究組合\(MAB\)の概要【MAB作成資料より】](#)(PDF:402.0 KB)